

研究機関名：日本大学医学部附属板橋病院

臨床研究に関する情報公開

疫学研究および臨床研究に関する倫理指針に基づく情報公開について

<インフォームド・コンセントを受けない場合において、当該研究の実施について公開すべき事項に関する細則>に基づいて、下記のとおり情報を公開します。

<研究課題名>

脊椎固定後椎体骨折の発生状況とその予防の調査

<研究期間>

承認 ～ 西暦 2022 年 3 月 31 日

<意義・目的>

椎弓根スクリューを使用した脊椎固定術は、高齢者の方にも用いられるようになりました。特に世界的な長寿国である我が国では、その普及度は高く、多くの優れた治療成績を報告してきました。しかし、年をとって骨が弱くなっている影響が大きいこともあります。せっかく手術した背骨に骨折が起きることもあります。この調査は、骨折の発生状態を知って予防につなげていくことを目的に行います。そのためには骨折した人も、骨折しない人も皆様のご協力が必要となります。

<方法>

平成31年2月以前にXIA椎弓根スクリューシステムを用いた脊椎固定術の手術を実施した患者さんで手術後の骨折予防のために、ビスホスホネート製剤(アクトネル、ボノテオ、フォサマクなど)あるいは副甲状腺ホルモン製剤(テリボン、フォルテオ)を1年以上継続投与された方の診療情報を診療録等から収集して、解析を行います。骨折された方は、レントゲン写真や骨折したときの状況も調査いたします。調べたデータをまとめて学会や論文に利用させていただきます。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方は、下記の<問い合わせ窓口>までご連絡ください。

<問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院

東京都板橋区大谷口上町 30-1

整形外科

外来医長

氏名：間世田 優文

電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2493